

＜計画策定の目的＞

- スポーツ基本法において、その地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を定めるよう努めることとされる。
- スポーツを通じて幸福で豊かな生活の実現を目指して、長久手市のスポーツ推進に関する基本方針を定める。特にスポーツとの関わりが少なかった市民（無関心層）も、気軽にスポーツを楽しみ、健康に関心を持つことができるようにスポーツの概念をできるだけ幅広く捉えて策定する。

＜策定方針＞

- 「長久手市スポーツ施設整備等基本構想」で示されている、長久手市のスポーツ推進についての基本理念と4つの柱を継承したものとする。
- 国の「スポーツ基本法」、県の「いきいきあいちスポーツプラン」の基本施策を考慮しながら、長久手らしさを取り入れた計画内容とする。
- 長久手市におけるスポーツの考え方（定義）
「ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツはもとより、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど、様々な目的を持った全ての身体活動」とする。

＜計画の基本理念と期間＞

- 「長久手市スポーツ施設整備等基本構想」にある、本市スポーツ推進について基本理念、4つの柱を基本とする。

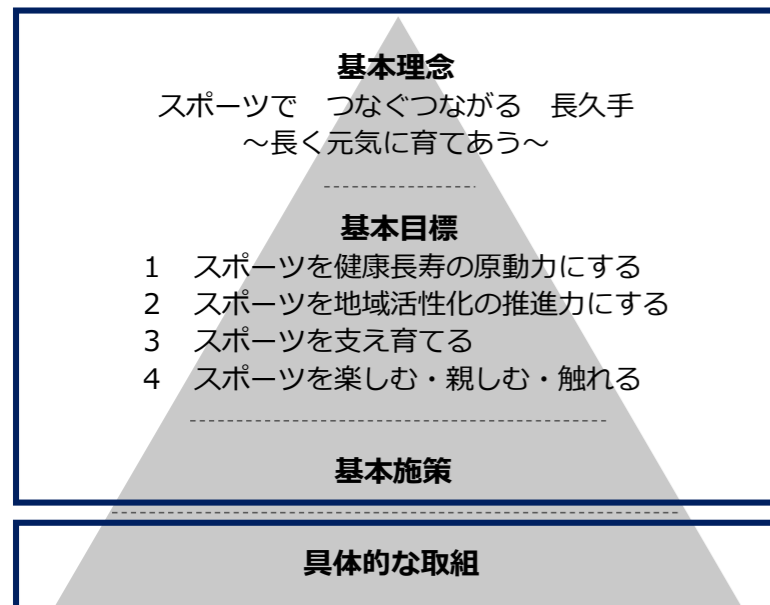
基本理念 スポーツで つながつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～

4つの柱

- 1 スポーツを健康長寿の原動力にする
- 2 スポーツを地域活性化の推進力にする
- 3 スポーツを支え育てる
- 4 スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

- 計画の期間は2020年度から2029年度までの10年間とする。（5年で中間見直し）

＜計画の構成と行政・市民の役割分担＞



行政主体
国などの施策、長久手市の現状・課題を基に**策定委員会**によって決定。

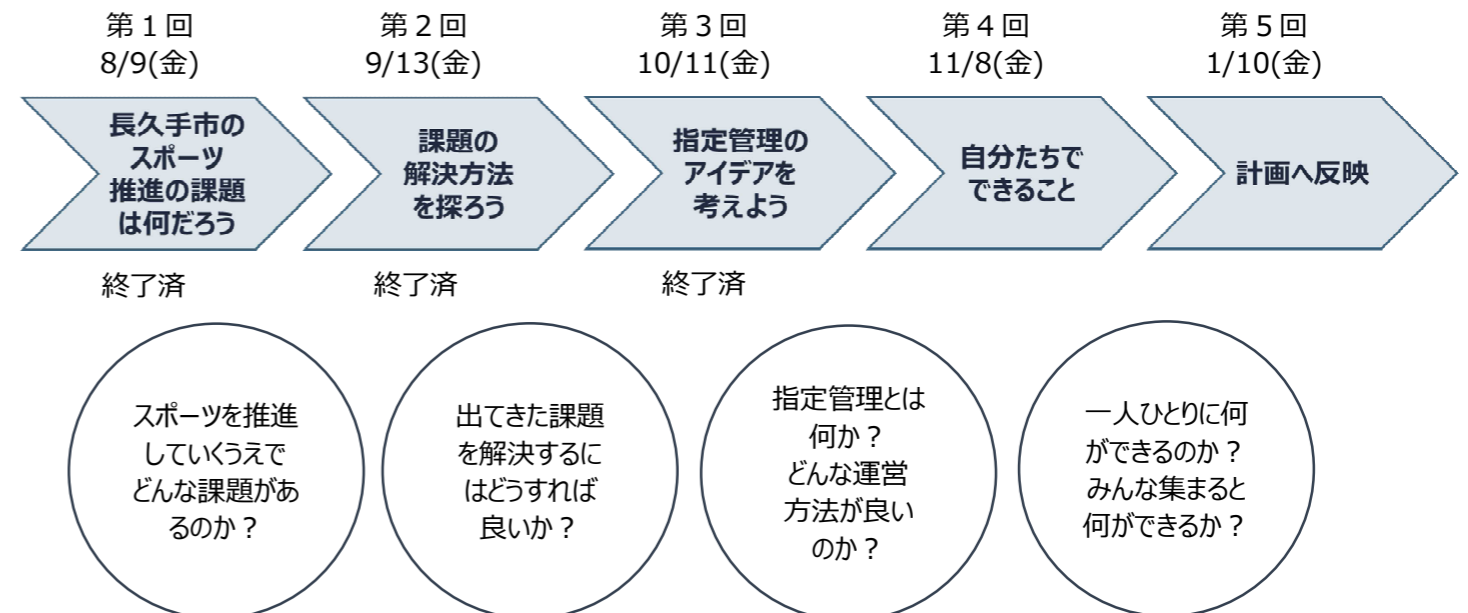
市民主体
市民部会によって検討・決定。

＜策定スケジュール＞

作業項目	2019					2020					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
策定作業	市のスポーツ推進の課題の整理		具体的な取組の検討(市民部会)			計画案とりまとめ		パブリックコメント 2月上旬～中旬			計画完成
市民部会			第1回 8/9(金) 19:00- スポーツ推進の 課題	第2回 9/13(金) 19:00- 課題の解決方法	第3回 10/11(金) 19:00- 指定管理について	第4回 11/8(金) 19:00- 自分たちが 出来ること		第5回 1/10(金) 19:00- 計画書案の説明			
策定委員会					第1回 現状の報告 市民部会の報告 策定方針の説明		第2回 市民部会の報告 パブコメ案	第3回 パブコメ案 修正の報告		第4回 パブコメ報告 計画案の承認	
その他									パブコメ 市民説明会		

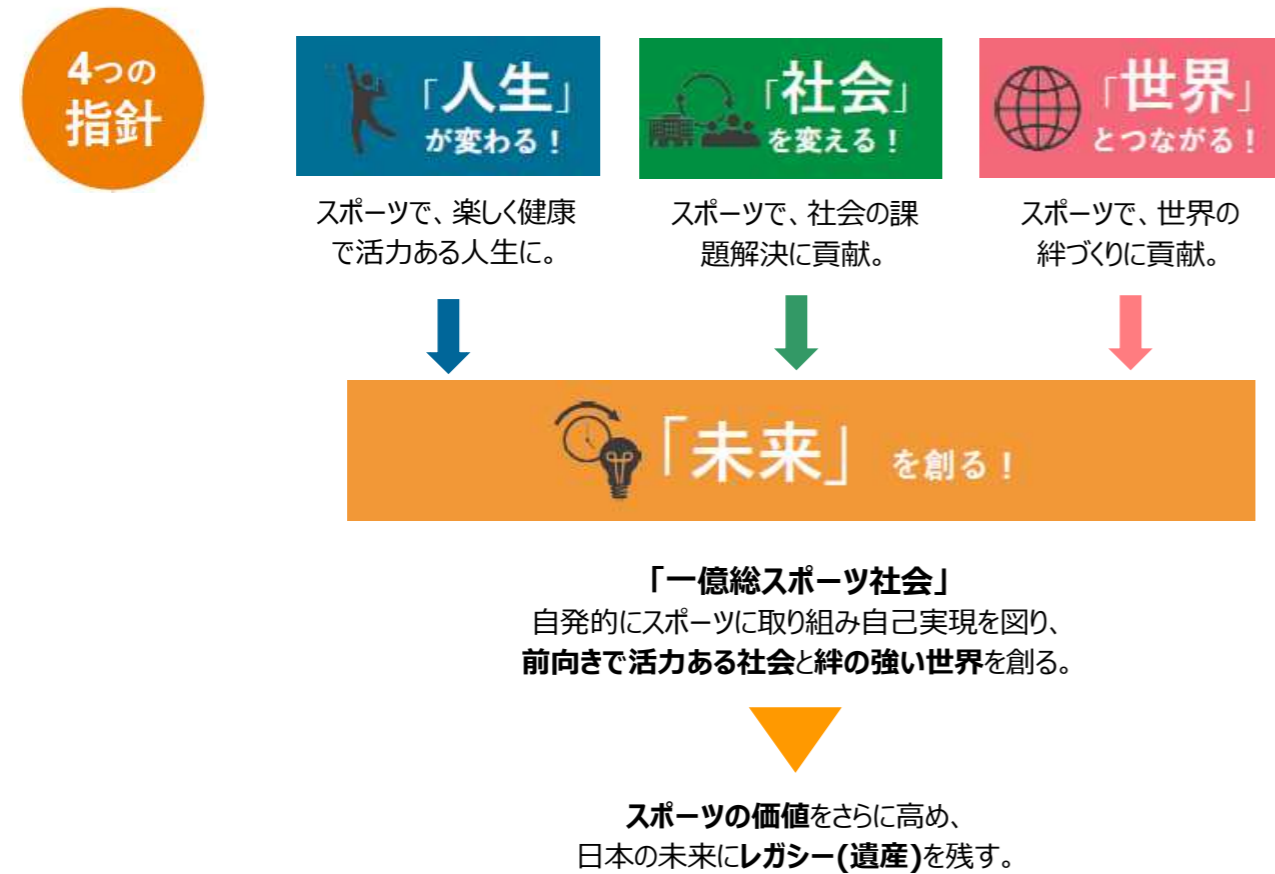
- 策定委員会の実施
全部で計4回を開催予定。
■第1回 現状の説明、策定方針の説明、市民部会の報告 本日
■第2回 市民部会の報告、パブコメ案
■第3回 パブコメ案修正の報告、確認
■第4回 パブコメ報告、計画案の承認

- 市民部会の実施
全部で計5回を開催予定。（現在第3回までを開催済み）



＜国の動向＞

- 平成 23 年 6 月「**スポーツ基本法**」を制定
スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進。
国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的とする。
- 平成 29 年 3 月「**第 2 期スポーツ基本計画**」を策定
中長期的なスポーツ政策の基本方針として、4 つの指針を掲げる。



＜愛知県の動向＞

- 平成 25 年 3 月（平成 30 年 3 月 改定）スポーツ推進計画「**いきいきあいちスポーツプラン**」を策定
【計画の趣旨】
県民一人ひとりがそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力ある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性を示すもの。
- 【計画の基本施策】
 - ①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
 - ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 - ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
 - ④競技力の向上を目指す取組の推進

＜長久手市スポーツ施設整備等基本構想＞

- スポーツ施設整備等基本構想とは
長久手市の第 5 次総合計画（平成 21 年度～30 年度）の『健康プロジェクト「ながくてアクティブ構想」』や第 2 次新しいまちづくり行程表のフラッグ 2「あんしん」の施策⑦「健康づくりの輪を広げ、いくつになっても元気で輝く」において位置づけられている健康スポーツ拠点「スポーツターミナル」を整備するために策定されたもの。

- 長久手市のスポーツ推進の考え方
【長久手市におけるスポーツの定義】
ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツはもとより、健康づくりのためのウォーキングや散歩、軽い体操、介護予防のためのトレーニングなど、様々な目的を持った全ての身体活動

【長久手市のスポーツ推進の基本的な考え方】

■基本理念

スポーツで つなぐつながる 長久手 ～長く元気に育てあう～

■4 つの柱

柱 1：スポーツを健康長寿の原動力にする

子どもの頃からスポーツに親しみ、健康的な生活を習慣づけることで、生涯にわたりスポーツに親しみ、健康づくりを継続できる環境をつくります。
スポーツや健康に関心が低い人々に、健康で長生きすることの素晴らしさを啓発し、持続的に健康づくりへの参加を促します。

柱 2：スポーツを地域活性化の推進力にする

スポーツ活動を「地域の絆、つながり」づくりのきっかけとして位置づけ、地域づくりに関心が低い人も参加しやすいスポーツを通して、社会全体を相互に支え合うシステムを構築し、市民一人ひとりの健康を守るまちづくりを推進していきます。

柱 3：スポーツを支え育てる

市内には、かつて各種大会等で活躍したスポーツ選手や医療・介護・福祉の現場で健康づくりに携わり、実績を上げてきた方もいます。そのため、こういった地域の人材を地域スポーツや健康づくりの指導者として登用するなど、地域の力を活用し、長久手市のスポーツ・健康づくりを支える人材を発掘し、次世代の人材を育てます。

柱 4：スポーツを楽しむ・親しむ・触れる

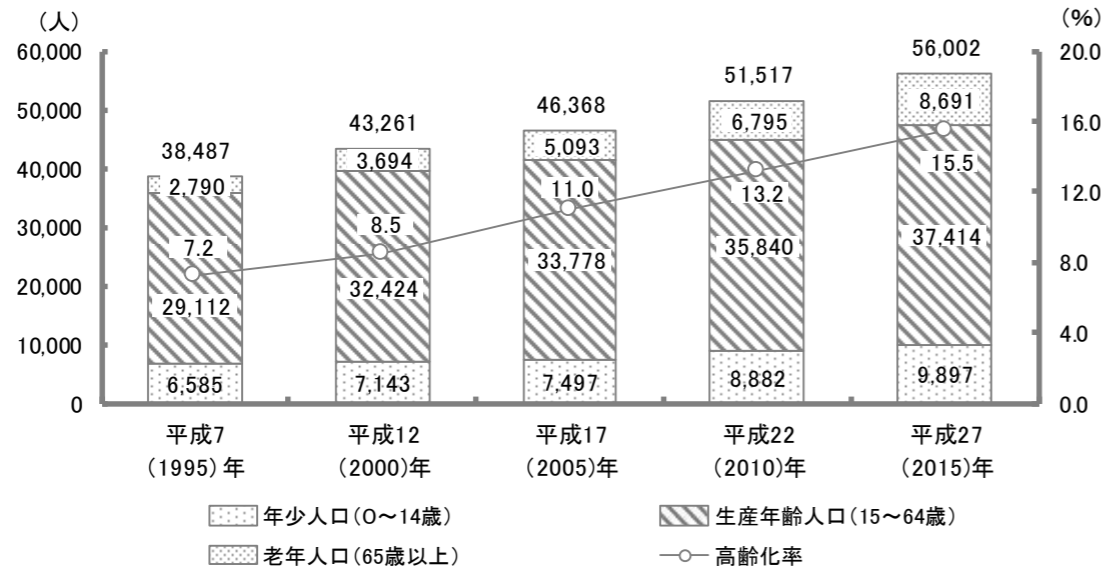
各種スポーツ大会で活躍するアスリートの育成を図るとともに、市民の日常的なスポーツ活動においてトップアスリートとの交流や試合観戦する機会を構築することでスポーツ・健康づくりライフ形成の動機づけを図ります。
スポーツが身近に体感でき、子どもから大人まで、誰もが楽しく始められる、ニュースポーツの普及及び啓発を行っていきます。

＜人口について＞

●年齢三区分別人口の推移

すべての区分において増加している。

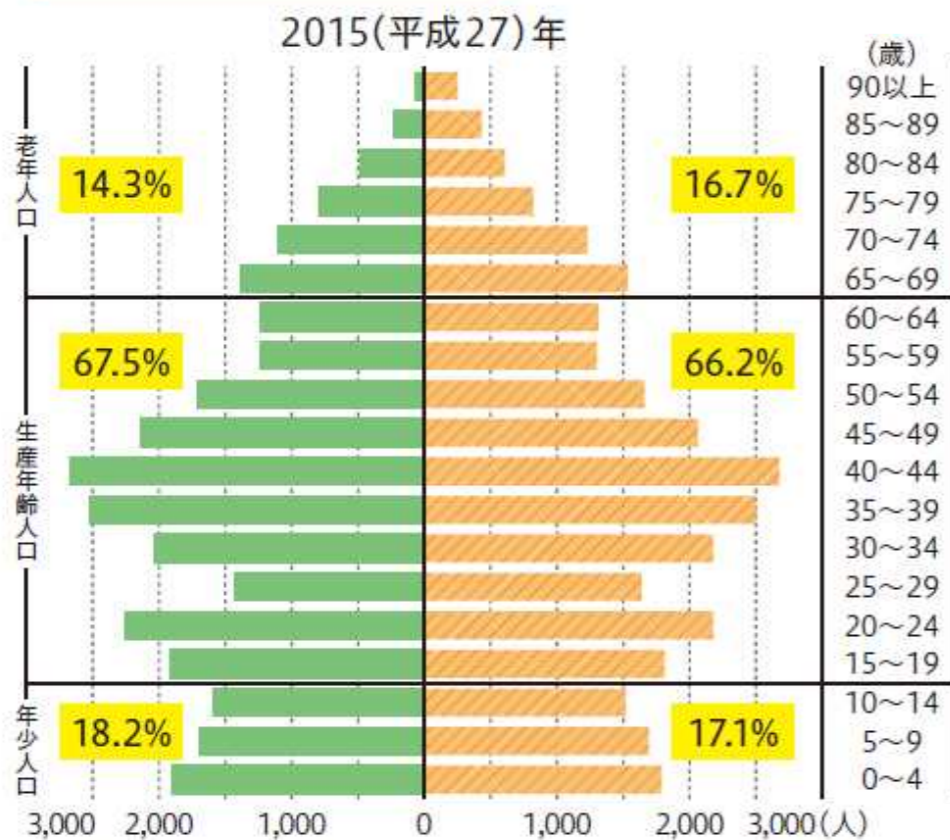
高齢化率も増加していて、平成27年では15.5%となっている。



資料：国勢調査（年齢不詳除く）

●長久手市の人口ピラミッド（平成27年）

40～44歳における人口が男女ともに多い。次いで、35～39歳が多くなっている。



資料：ながくて未来図 第6次長久手市総合計画

＜スポーツ施設の現況について＞

●スポーツ施設利用状況

施設の利用状況については全体的に増加傾向である。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市民野球場	449件	450件	490件	502件	524件
テニスコート	7,040件	7,754件	8,218件	7,386件	7,963件
長久手スポーツの杜	1,061件	1,113件	1,134件	1,102件	1,079件
杵ヶ池体育館 (アリーナ、柔剣道場等)	5,480件	6,158件	7,210件	8,147件	7,558件
杵ヶ池体育館 (トレーニングルーム)	7,984人	8,515人	9,412人	10,319人	11,324人

資料：生涯学習課

●学校スポーツ開放状況

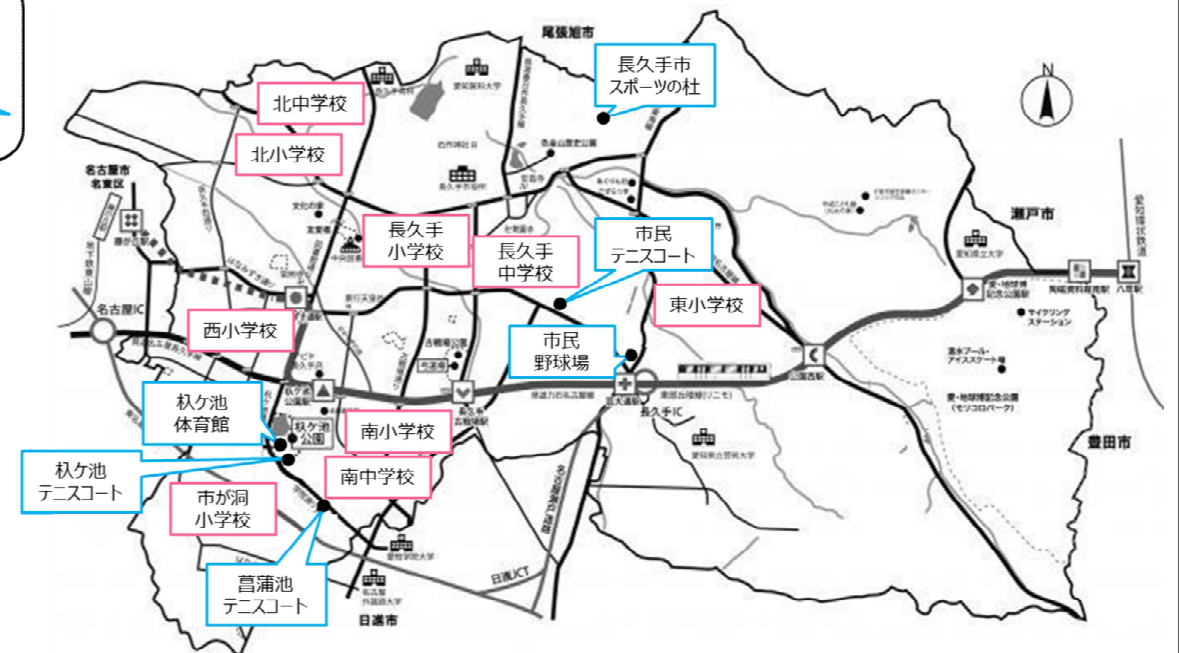
体育館の開放状況は、増加傾向である

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
運動場(小学校)	764件	685件	686件	615件	640件
体育館(小学校)	498件	429件	530件	722件	773件
体育館(中学校)	548件	590件	652件	718件	752件

資料：生涯学習課

●長久手市内のスポーツ施設の場所

凡例：
学校スポーツ開放施設
スポーツ施設



<市民アンケートの結果について>

● アンケート調査の概要

【目的】平成30年度に「長久手市スポーツ推進計画」の策定の基礎資料として、調査を実施したもの

【対象】平成30年10月1日現在で、本市在住の2,000人を無作為抽出

【期間】平成30年11月29日から平成30年12月16日

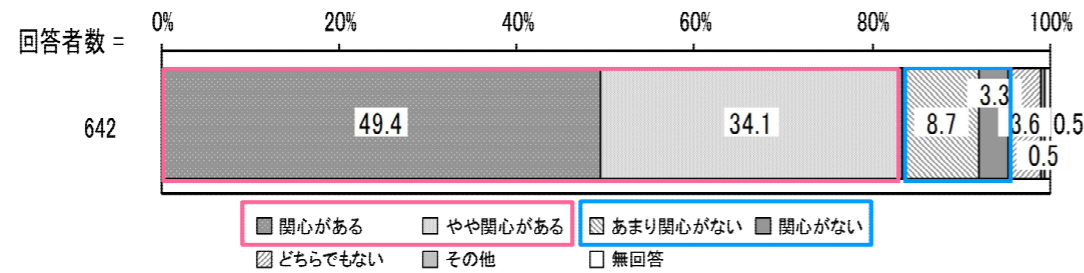
【方法】郵送による配布・回収

【回収状況】

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000通	642通	32.1%

1. スポーツ・健康づくりに対する意識について

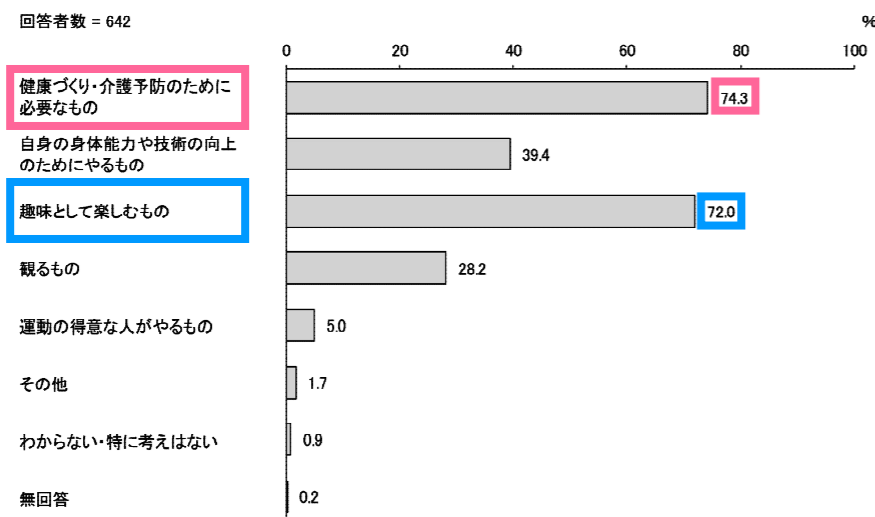
■ あなたは、スポーツに関心がありますか。



関心がある、やや関心があるの割合の合計は80%以上となっている。

関心がない、あまり関心がないの割合の合計は12%となっている。

■ あなたは、スポーツについてどのような考えを持っていますか。

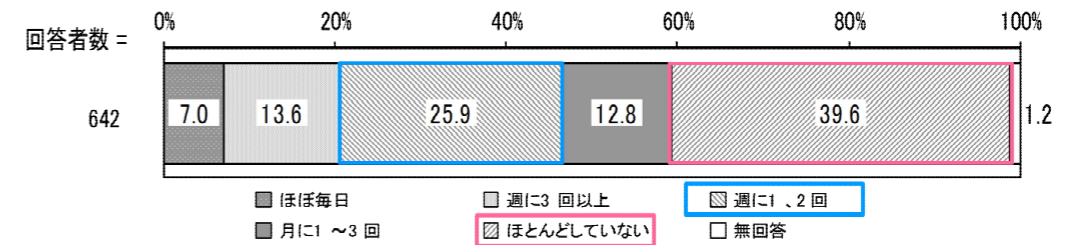


健康づくり・介護予防のために必要と考えているの割合が74.3%と最も高い。

次いで、趣味として楽しむものとなっている。

2. スポーツの実施状況について

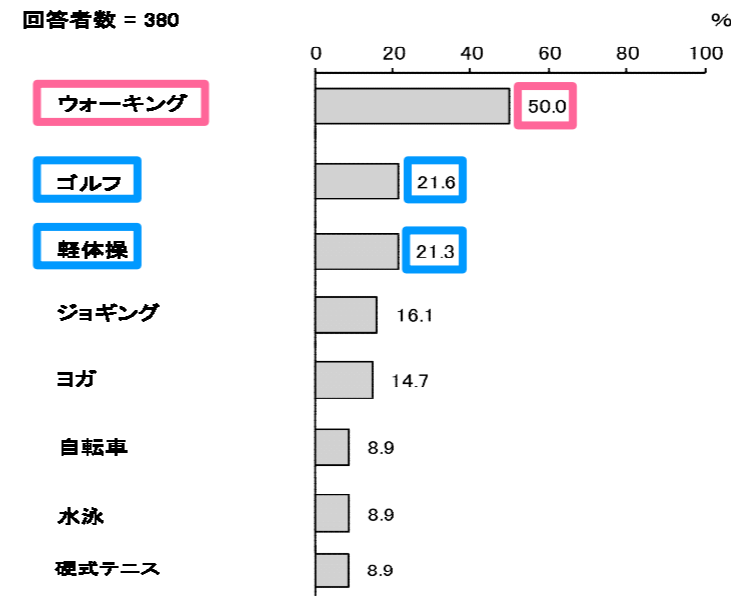
■ あなたは、普段どれくらいスポーツをしていますか。



ほとんどしていないの割合が39.6%と最も高い

次いで、週に1、2回となっている

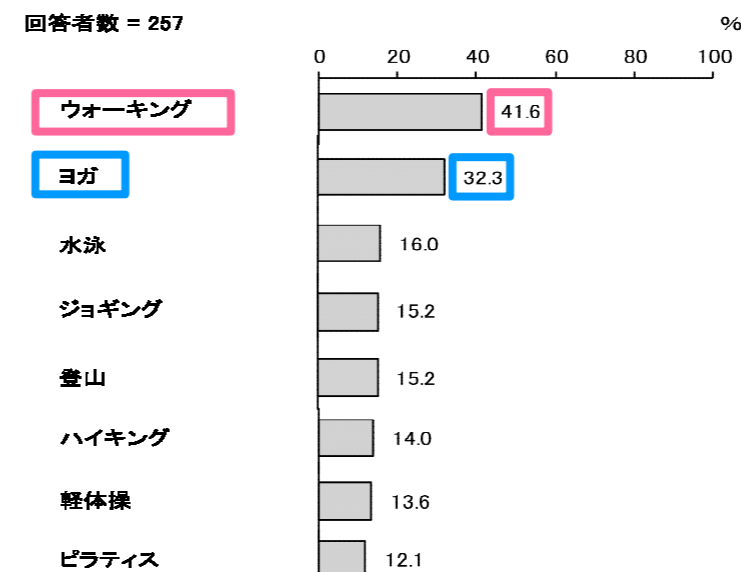
■ あなたは、どのようなスポーツをしていますか。



ウォーキングの割合が50%と最も高い。

次いでゴルフ、軽体操となっている。

■ 今後、やってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。

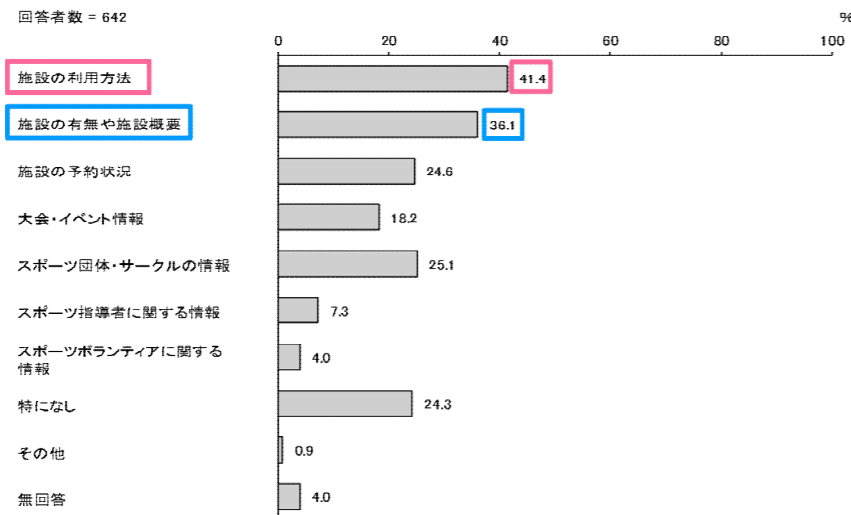


ウォーキングの割合が41.6%と最も高い。

次いでヨガとなっている。

3. スポーツ情報の入手について

■ スポーツ活動に関してどのような情報が欲しいですか。

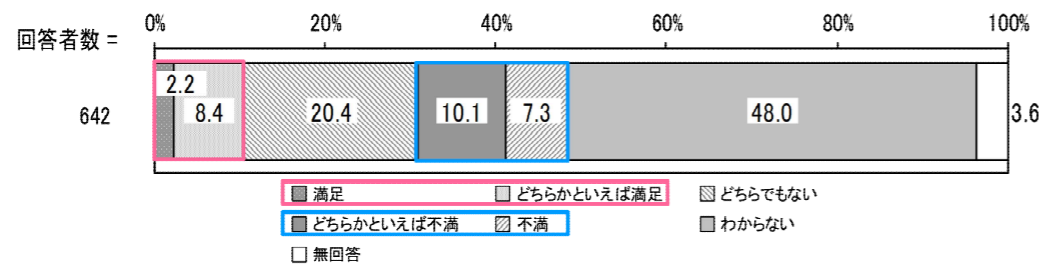


スポーツに関する情報として施設の利用方法の割合が41.4%と最も高い。次いで施設の有無や施設の概要となっている。

4. スポーツを取り巻く環境に関する意識について

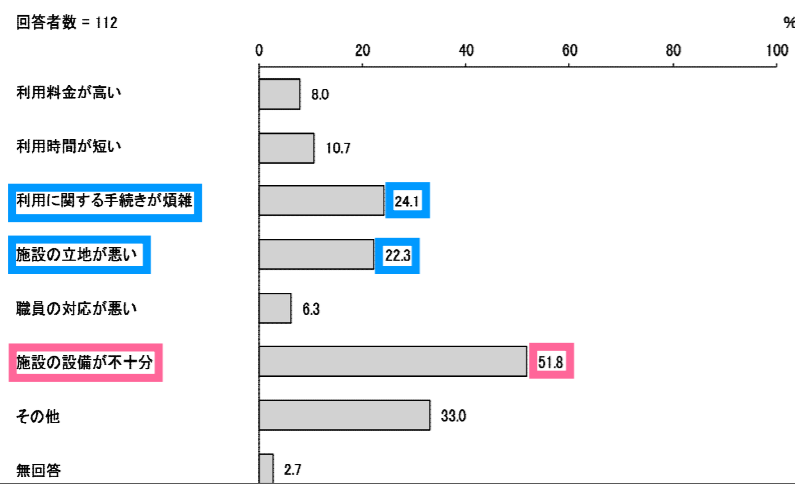
■ 市の設置するスポーツ施設に満足していますか。

(杵ヶ池体育館、杵ヶ池テニスコート、菖蒲池テニスコート、市民テニスコート、市民野球場、長久手スポーツの杜)



満足、どちらかといえば満足の割合の合計は10.6%。不満、どちらかといえば不満の割合の合計は17.4%。

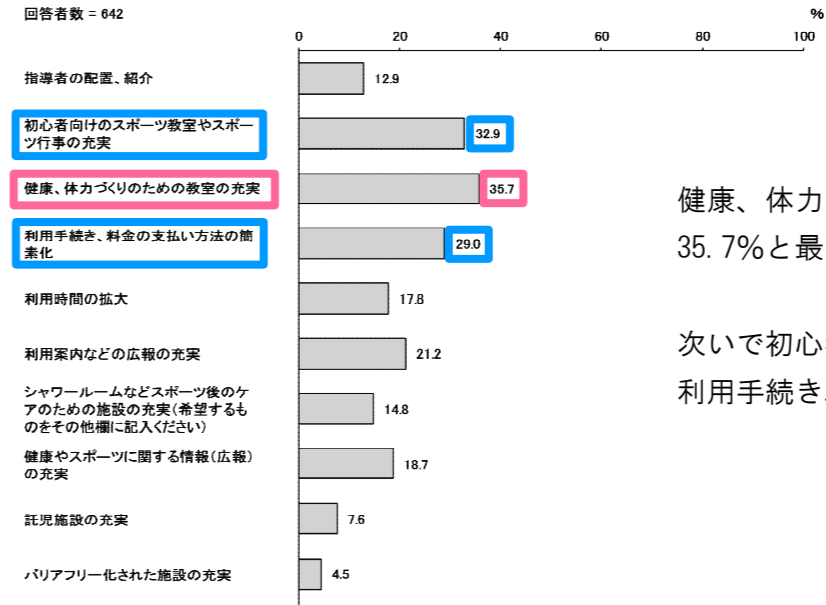
■ 市の設置する施設に満足していない理由は何ですか。



施設の設備が不十分の割合が51.8%と最も高い。

次いで利用に関する手続きが煩雑、施設の立地が悪いとなっている。

■ 市が設置するスポーツ施設が提供するサービスについて何か望むことはありますか。

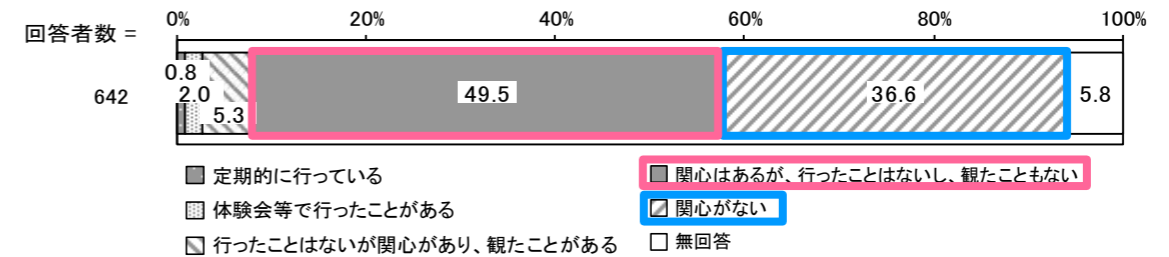


健康、体力づくりのための教室の充実の割合が35.7%と最も高い割合となっている。

次いで初心者向けのスポーツ教室や行事の充実、利用手続き、料金の支払い方法の簡素化となっている。

5. 障がい者スポーツについて

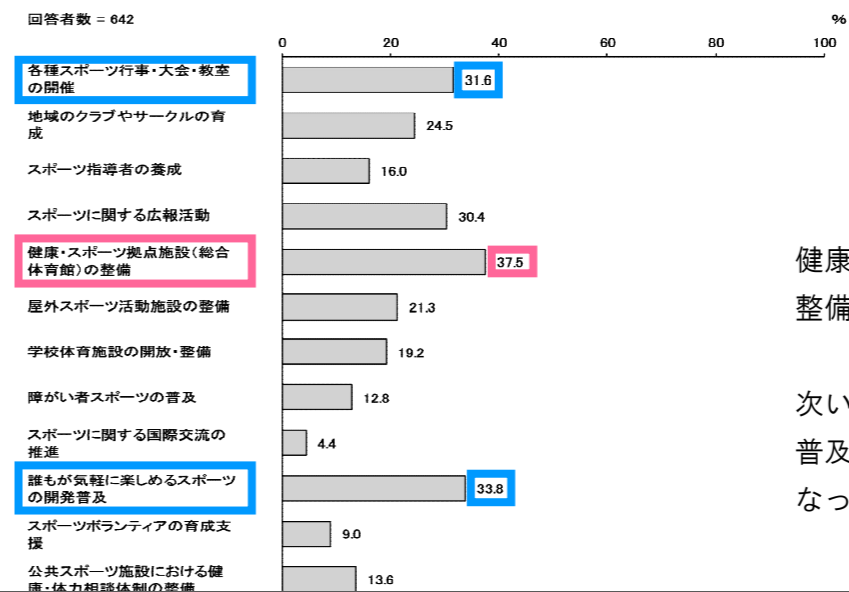
■ 障がい者スポーツを行った経験または関心がありますか。



関心はあるが、行ったことはないし、観たこともないの割合が49.5%と最も高い。次いで関心がないとなっている。

6. スポーツ推進について

■ スポーツを推進させるために、市が今後どのようなことに力を入れた方がよいと思いますか。



健康・スポーツ拠点施設(総合体育館)の整備の割合が37.5%と最も高い。

次いで誰もが気軽に楽しめるスポーツの開発、普及、各種スポーツ行事・大会・教室の開催となっている。

＜関係団体等ヒアリング調査＞

長久手市のスポーツ推進のための意見を聞くためヒアリング調査を実施。

1. 関係団体ヒアリング

■貴団体がスポーツ活動や健康づくり活動を行っていく上での問題点や課題、また、その問題点や課題を解決するために、取り組んでいくこと。

団体名	意見
長久手市 レクリエーション協会	【問題点・課題】参加者をどのように集めるか 【解決方法】回覧や団体へのチラシ配布等多くの人の目に触れる方法を考えたい
すこやかメイト	【問題点・課題】会員の高齢化と会員の減少 【解決方法】新規会員の募集
長久手市食生活改善 推進委員会	【問題点・課題】従来からの会員が高齢化 新会員を募集したが、現役世代の会員は仕事をしていて、 時間的制約が多く欠席しがち
長久手市体育協会	【問題点・課題】競技スポーツが主体となっており、技術力はそれなりに高いが 指導力の向上が必要 【解決方法】トレーニング方法の進歩、少年への指導法の変化、過去の精神論、 けが、故障への対策など進化する理論、科学的根拠に基づいた指導力 を高めるよう努力している

■障がいのある方がスポーツを行う上で必要だと思うこと。

団体名	意見
長久手市 身体障害者福祉協議会	・障がい者が楽しめるスポーツの紹介（PR）が必要 ・障がい者を対象としたスポーツ体験会等の実施（きっかけづくり） ・障がい者スポーツの指導者育成 ・障がい者が利用しやすい施設の整備や利用方法
ウェンディの箱	・ルールや当日の一日の流れなどを丁寧に説明してほしい
長久手希望の会	・勝ち負けの概念があまりないので、黙々とトレーニングに取り組む動機付けも むずかしい ・みんなでにぎやかに楽しく身体を動かす場は好きである ・開催されている場所への移動手段がないので積極的になれない ・安全面での配慮 ・知的に遅れがあると団体競技ではルール理解できなかつたり、個人競技でも まわりを見て真似をして覚える事が難しい場合もあるので個々の特性や障がいの 状況に合ったアプローチでフォローすること ・サポートをする方への協力（ボランティア） ・開催されている場所への移動手段 ・安全（器具、監視、設備など） ・何らかのかたちでの意思疎通（ルール理解）

■今後、貴団体におけるスポーツ活動や健康づくり活動を推進していく上で必要だと思うこと、感じていること。

団体名	意見
長久手市 レクリエーション協会	・カローリングなど道具が高価で、協会では手が出せない。市でさらに何セットか 購入してもらい活性化したい ・ポールウォーキングも同様で、今ある10セットから更に購入してもらい、 貸し出しの手続きを簡単にして導入を簡単にしたい ・効果的な活動を推進・拡大していくために、指導者の派遣や養成が不可欠である
すこやかメイト	・市が普及していた元気の出る体操が中止になった今、活動の方向性を検討 ・市の意向によってできたボランティアグループであるが、今後市の協力は少なく なっていくようであり、問題となっているが、新たな活動は見つかっていない
長久手市食生活改善 推進委員会	・各行事を行う際の募集広報の仕方
長久手市体育協会	・指導者の育成 当協会も一昨年度から当上部団体「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者」の 資格取得に取り組み、取得者には金銭補助も行っている。一昨年は2名の スポーツリーダー、昨年は3名のスポーツ指導者の資格を得た。
長久手市 身体障害者福祉協議会	・障がい者スポーツの普及を図るため、指導員を派遣希望します ・障がい者スポーツを実施するための備品（物品）の整備をお願いします 特にカローリング等は、個人で所有が困難なため、市で確保されたい
ウェンディの箱	・団体としてスポーツ活動をしていないので、ありません
長久手希望の会	・発達障がいなどはルールなどを覚える力はあると思うので、チームを作り、 身体を動かせ、日常のストレスを発散できる場を設けてほしい （バスケット、サッカー、野球など） ・障がいのある人を対象としたスイミング教室や体操教室があると良いと思います 幼児は親子で参加し、児童～大人は1人で参加できると良いかと。情報交換の場 にもなると思います ・楽しめて、地域の方とふれあって続けられる健康づくりの目標のスポーツが 必要だと思います

2. 公園利用者ヒアリング

杵ヶ池公園利用者の56名にヒアリング調査を実施。

■普段スポーツやレクリエーションとしての運動をしていますか。またどれくらい行っていますか。

している	35件	➡	【している頻度】週1～2回程度という声が多かった 【行っている内容】種目としては「ウォーキング」が多くなっている
していない	21件		

■スポーツ・運動をしていない理由はどのようなものですか。

「機会がない」「仕事や家事などで時間がない」「スポーツが苦手」「疲れる、面倒である」など

<開催概要>

●開催概要

2019年8月9日（金）19：00～

●場所

杵ヶ池体育館 ミーティングルーム

●目的

長久手市のスポーツ推進計画策定にあたり、市民・地域と行政の協働によるスポーツ推進施策を進めていくため、スポーツ推進施策に対する市民の意見を取り入れる場として、市民部会を開催しました。

●内容

- ・長久手市のスポーツ推進計画策定についての説明
- ・長久手市のスポーツを取り巻く現状についての説明 x
- ・長久手市のスポーツ推進の課題についてのグループワーク



<グループワークについて>

- 「長久手市のスポーツ推進の課題は何だろうか?」というテーマのもと、3つのグループに分かれてグループワークを実施しました。
- する・観る・支える・活用するという視点で、長久手市のスポーツ推進に関して良いところ、良くしたいところの意見を出し合いました。
- 個々で考えた意見をグループごとでまとめ、他のグループの意見を見学するなど意見交換を行いました。
- 最後にグループごとでまとめた意見の発表を行いました。



グループワークでの主な意見

する・観る

【良いところ】

- ・スポーツに関心のある人が多い
- ・スポーツをしている小学生、スポーツ少年団が多い
- ・シニアのスポーツ意識が高い
- ・公園があり、ウォーキングが行いやすい
- ・自然が多く、ウォーキングに良い
- ・リニモウォークが盛んで、参加者が多い
- ・野球場が2つある
- ・スケート場がある（フィギュアスケートの観戦）

【良くしたいところ】

- ・体育館が狭い、小さい、エアコンがない
- ・プールがない
- ・野外スポーツ施設が貧弱（人工芝のグラウンド、陸上競技場）
- ・駐車場の不足
- ・アクセスが不便
- ・個人利用がしづらい、団体優先
- ・手続きの簡素化
- ・インターネットでの申し込み
- ・学童女子における外でのスポーツ種目が少ない
- ・少年対象の教室の実施
- ・障がい者スポーツの充実 など

活用する

【良いところ】

- ・新しい人、地元の人との関わり（運動会など）
- ・スポーツショップが多い
- ・人口が少なく行事等が住民へ伝えやすい
- ・モリコロパークの活用

【良くしたいところ】

- ・有名、強い選手を輩出しているが売りにっていない
- ・長久手市を代表するスポーツチーム・クラブがない
- ・好きなチームの存在（応援ができる）
- ・学生も参加するスポーツイベントで元気づけたい
- ・公園を活かしたスポーツ企画の不足
- ・がんばらっせ長久手スポーツクラブの活用
- ・学校のプール開放 など

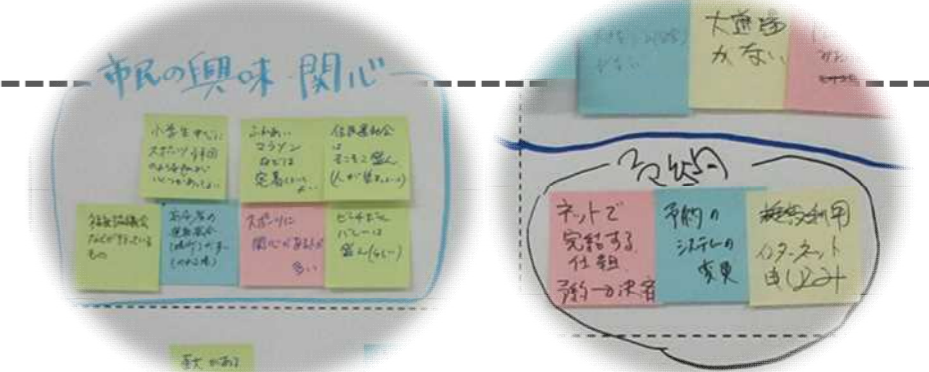
支える

【良いところ】

- ・病院が近くにあり、安全である
- ・愛知医科大学のプール開放、運動療育センター
- ・広報誌の充実
- ・日本一若い街
- ・運動会への参加

【良くしたいところ】

- ・資格を持つ指導者の増加
- ・活動を継続させていくための後継者、人材の不足
- ・複数団体が同一種目を実施している
- ・スポーツに関する相談ができるところ
- ・イベント等へのアナウンス、情報の不足 など



<開催概要>

●開催概要

2019年9月13日(金) 19:00~

●場所

杵ヶ池体育館 ミーティングルーム

●内容

- ・第1回市民部会での意見のまとめについて説明
- ・長久手市のスポーツ推進に関する課題の解決方法についてのグループワーク

<グループワークについて>

- 「課題の解決方法を探ろう」というテーマのもと、「する・観る」「支える・活用する」の2つのグループに分かれてグループワークを実施しました。

する・観るグループ

- 施設の利用しやすさの向上
(個人利用、手続きについて)
- 多様な市民の参加拡大【子ども・親子・働く世代・高齢者・障害者】
(様々な世代におけるスポーツ種目の増加について)
- 観る機会の増加
(観るスポーツの機会の増加、イベントや大会の充実について)
- 団体の活動の充実
(複数団体での実施する種目、衰退傾向の活動について)

支える・活用するグループ

- 人材の育成・発掘
(指導者に関して、活動継続のための後継者、人材について)
- 情報発信・相談体制の充実
(イベントや大会の情報、スポーツに関する相談機関や場について)
- まちおこし・地域の活性化
(地元の有名選手の活用、スポーツを通じた異世代交流について)
- 健康づくり・健康長寿
(健康づくり等を継続できる環境、運動習慣づくりへの活用について)

グループワークでの主な意見

する・観るグループ

【施設の利用しやすさの向上】

- 市内外の施設の情報を提供する
- ソフトウェア(予約システム)の導入

【多様な市民の参加拡大】

- 多世代が参加できるスポーツイベント
- 情報が自然と入ってくる仕組み
- スポーツが苦手、無関心な子どもにはゲーム性があるものや楽しめるものにする
- スポーツ無関心層を取り込むアイデアを考える
- 仕事終わりにスポーツができる環境づくり(働く世代)

【観る機会の増加】

- オーロラビジョンやパブリックビューイングを開催する
- 体育館のキャパシティを増やす
- 幅広い世代が楽しめるニュースポーツ(スポーツ鬼ごっこ、ながボッチャ)
- 普及させていくスポーツを考える

【団体の活動の充実】

- 団体としての活動が衰退していても個人で取り組んでいるのであれば、良いのではないか

- 解決方法
- 自分たちにできること

支える・活用するグループ

【人材の育成・発掘】

- 長久手市で資格の基準をつくる
- NPOやスポーツ推進委員の活用、有償ボランティア
- ボランティアに興味のある人に手伝ってもらいながら巻き込んでいく
- 市民で興味のある人で、資格まで取れなくても一緒に教育を受けられるとある程度分かる人が増える

【情報発信・相談体制の充実】

- 情報を受け取る際に、自身の好きなカテゴリーを選択できるもの
- スポーツに限らず様々なイベントや大会の情報を発信
- 日時を決めて相談日を設ける(体育館、コミュニティセンターなどでトレーナーが行う)
- FaceBookの利用

【まちおこし・地域の活性化】

- 毎月、広報やひまわりネットワークで一人ひとり紹介をしていく
- スポーツの祭典や校区運動会を活用
- 年間を通して1つの種目を市民が楽しみ、大会を開く(誰でもできる種目)
- 回覧板の活用

【健康づくり・健康長寿】

- 健康診断と同じような体力健診のようなものをつくり、定期的に測定していく
- 測定結果をさらに活用(再就職の際の適性判断)
- 健康、スポーツ情報の発信を定期的に行う
- 情報の発信方法の検討
- 長久手市民ラジオ体操(スタンプカード)

<開催概要>

- 開催概要
2019年10月11日（金）19：00～
- 場所
杵ヶ池体育館 ミーティングルーム
- 内容
 - ・第2回市民部会での意見のまとめについて説明
 - ・指定管理についての説明
 - ・長久手市のスポーツ施設の運営・管理についてのグループワーク

<グループワークについて>

「指定管理のアイデアを考えよう」というテーマのもと、長久手市のスポーツ施設の運営・管理について10項目を「このままで良い」「変わると良い」に振り分けました。振り分けた項目に関してどう変わると良いかを具体的に考え、意見交換を行いました。振り分けた10項目については以下のとおり。

振り分けを行った10項目

(○：このままで良い ●：変わると良い)

【利用方法】

- 開館時間
- 施設の予約・利用（予約の方法、個人・団体利用）
- 利用料金

【教室】

- 行っている教室の種目
- 行っている教室の対象者
- 行っている教室の指導者

【イベント・大会】

- 開催するイベント・大会の規模
- 開催するイベント・大会の頻度
- 開催するイベント・大会の種目

イベント・大会について

【情報発信・相談体制】

- 情報発信・相談体制

グループワークでの主な意見

開館時間

- 朝早くに通勤する人のためにトレーニングルームを早くに開ける
- 働く人のために夜遅くまで空いていると良い
- 休日前や休日は22：00まで開館していると良い
- 片づける時間を含めての閉館時間とはせずに、30分ほど延長をしてほしい
- やむを得ない場合を除いて、無休であることが望ましい
- ジム（民間）であると24時間の営業が行われている

施設の予約・利用

- 予約から決済までをインターネットで済ませることができるようにする
- 体育館に来なくて済むように、利用料金をネットでの支払いとする
- 受付での支払いがなくなれば、利用者にとっても運営側にとっても手間が省けて良いのではないかと
- あいち共同利用型施設予約システムは使いづらいため、予約方法を多様化する

行っている教室の対象者

- 子どもを持つ人が参加をしやすい環境、教室の開催（子どもを預けることができる環境）
- 運動の機会が不足している働く世代が参加をしたくなるような教室の開催
- レベル別の種目を考える（現在は初心者向け）
- ニーズの把握を行い、対象者に合った教室を開催する
- 種目によって年代別のコースが設定されているかどうか

行っている教室の指導者

- 質の高い指導者の配置
- きめ細かい指導ができる指導者の配置
- 気軽に指導してもらうことや相談ができる身近な指導者がいると良い
- アドバイザー的な形で指導者の人数が多い方が良い
- スポーツ指導者の育成、教室、講座を開催し、地域・学校での指導者として活動をしてもらう
- 指導者の育成プログラム等を考え、それに対する助成を行う
- 他都市の指導者に声をかけるなどして連携を図る

イベント・大会について

(規模・頻度・種目)

- 誰もが気軽に行えるニュースポーツの大会をレクリエーション感覚で開催する
- ニュースポーツの大会を一般に普及させ、地域対抗などの大会を開催できるように発展させる
- 年に1回の運動会に絞り、ご褒美、競争のあるものにする事で刺激を持たせて盛り上がるものにする
- 高齢者以外の年代の人たちが集まれるようなイベント・大会を開催する
- イベントの成否を人数で判断しすぎではないか

情報発信・相談体制

- HP、SNSを活用した情報発信を行い、教室や種目、利用状況がわかるようにする
- メール以外にもLINEやFaceBookなどをもっと活用して情報発信を行う
- 市の広報を過信しすぎているのではないかと。市役所が思っているほど見ていないというのが現状である
- ニュースポーツの周知を積極的に行う
- 気軽に相談などを行えるように、相談日や相談場所を決めるというような制度、仕組みがあると良い

＜課題の整理、基本目標の設定＞

市民部会での意見（○）、市民アンケート調査（□）、関係団体ヒアリング（◇）、公園利用者ヒアリング（▽）を踏まえて、長久手市におけるスポーツ推進の課題を設定。

市民部会、市民アンケート調査、ヒアリング等から見える主な意見を整理

